

保健

医療

福祉

分野で社会に貢献します。

# 医心伝心

【いしんでんしん】

10

October

No. 182

2023.10.15



## 一特集一 チーム医療 〜チームの力を生かして〜

### ■ かかりつけ医を持ちましょう

当院は、地域医療連携を推進しています。当院を受診される場合は、かかりつけ医からの紹介と予約が必要です。ご理解とご協力をお願いいたします。

### ■ 紹介状持参のお願い

当院は紹介受診重点医療機関です。初診の方は、他の医療機関からの紹介状（診療情報提供書）を必ずお持ちください。紹介状なしで受診された場合、初診時選定療養費（自費）7,700円（税込）がかかり、待ち時間が長くなりますのであらかじめご了承ください。

### ■ 救急外来について

当院の救急外来は、重症度の高い患者さんを優先に診療いたします。円滑な救急医療を行うため、なるべくかかりつけ医か休日診療所、在宅当番医を受診してください。必要に応じて当院にご紹介いただくシステムになっています。

### ■ 予約変更専用窓口について

予約の変更・確認は、予約変更専用窓口で承ります。ただし、歯科口腔外科の場合は歯科口腔外科外来までご連絡ください。

予約変更専用窓口 0566-25-8103  
歯科口腔外科外来 0566-25-8020

【年末年始休診日のご案内】2023年12月29日（金）～2024年1月3日（水）

※ただし、緊急の場合はこの限りではありません。当院の救急外来では重症度の高い患者さんを優先に診療いたしますので、あらかじめご了承ください。

NEWS



## AI問診を導入しました

スムーズに外来診療を受けていただけるよう、AI(人工知能)問診を導入しました。AI問診の際は、各診療科の受付で専用のタブレット端末をお渡ししますので、画面の案内に沿って、該当する症状などをご回答ください。入力方法がわからない場合は職員にお尋ねください。また、患者さんのスマートフォンなどから、来院前にご回答いただくことも可能です(事前WEB問診)。

導入していない診療科：歯科口腔外科、泌尿器科、眼科、脳神経外科



### AI問診のメリット

紙の問診票のような定型質問ではなく、AIが最適な質問を自動で判断!

- ・患者さんに合わせた精度の高い問診
- ・患者さんから医師へ、症状の伝え漏れ防止

### 事前WEB問診のご利用方法

一部、利用できない診療科がございます。画面の注意事項をご確認の上、ご利用ください。

QRコードを読み取り、画面に沿って症状などをご回答ください。

回答後に表示される「受付番号」を、スクリーンショットするなど必ずメモしてご来院ください。



TOPICS

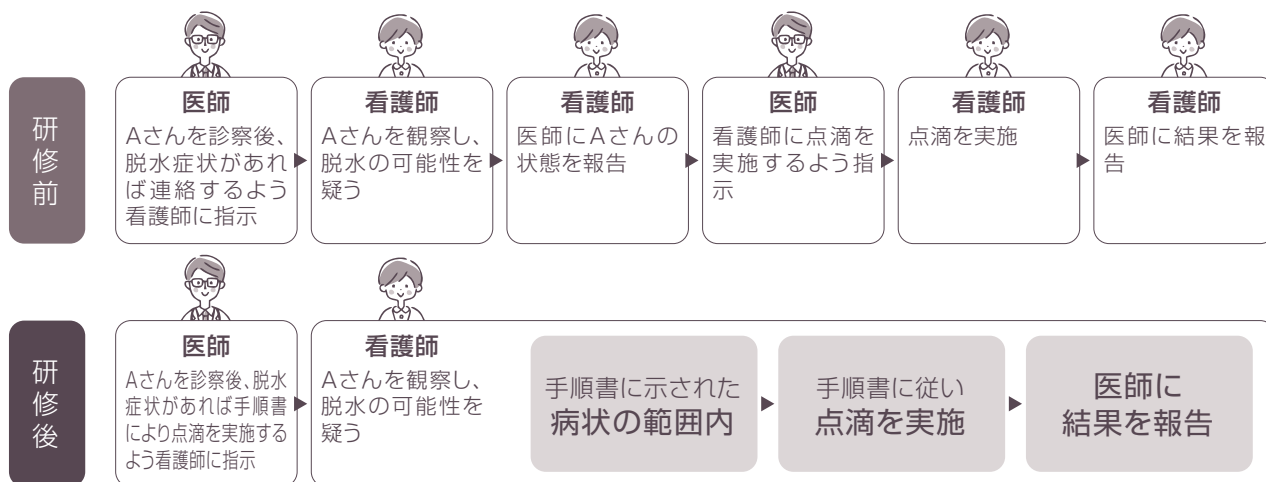


## 特定看護師が活動しています

特定看護師とは、厚生労働省が定める特定行為研修を修了し、高度で専門的な知識と技術を身に付けた看護師のことで、医師の作成した手順書に従って診療の補助を行います。これにより、看護師が患者さんの状態に合わせて、迅速に医療を提供できるようになりました。手順書の範囲内に限られますが、医師の到着を待っている間に病状が悪化してしまう事態を防ぐことができます。

当院には、特定行為研修を修了した看護師が5名在籍しています。現在研修中の看護師も10名以上おり、今後院内で活動の幅を広げる予定ですので、ご理解いただきますようお願いいたします。

### 特定行為の実施の流れ 脱水を繰り返すAさんの例



広報誌タイトル

## 医心伝心 [いしんでんしん]

本来「心を以って心に伝う」の意、以心伝心。私たちの業務も患者さんの言葉のみに頼らず、表情、しぐさ、その向こうにある心の訴えに十分に目を向ける「心配り」を大切にすることが「医療安全」はもとより、快適な診療をお届けする基本だと考えます。そんな意を含め「以」を「医」としてタイトルにいたしました。

## 病院長

み~つけた!

広報誌内に登場しています。  
どこにいるでしょうか?  
(答えは裏表紙に記載)

3カ所  
です!



# ひとりでできるリハビリテーション

## ウォーキングの効果とポイント

手軽に取り組める有酸素運動の一つであるウォーキングは、正しいフォームで行うと、消費カロリーを増やすことができ、けがの予防や筋力強化にもつながります。また、継続して取り組むことで、体脂肪の減少による肥満解消や血圧・血糖値の改善、心肺機能の強化、骨粗しょう症の予防などの効果が期待できます。今回は、ウォーキングの正しいフォームをご紹介します。5つのポイントを意識してみましょう。

### ■ウォーキングの正しいフォーム

#### ①姿勢

お腹に力を入れて、軽く胸を張る。腰が反り過ぎないように注意する。

#### ④歩幅

普段の歩行よりも、少し歩幅を大きくする。

#### ②目線

顎を引き、20～30m先を見るようにする。

#### ③腕振り

肩の力を抜いて、肘を軽く曲げる。手を軽く握って前後にリズムよく振る。

#### ⑤着地

かかとから着地する。



### ■レベルアップのすすめ

普段のウォーキングに変化をつけると、効果を高めることができます。

#### 速さに変化をつける

普段のウォーキングに早歩きを取り入れると、メリハリがつき、消費カロリーを増やすことができます。無理のない速度と早歩きを交互に行いましょう。

#### コースに変化をつける

普段のウォーキングコースが平坦な道の方は、坂道や段差のあるコースにしてみましよう。負荷がかかり、消費カロリーを増やすことができます。また、コースの変更は気分転換にもつながります。

ウォーキングは継続が大切です。無理せず、心地良い距離・歩行時間から始めてみてはいかがでしょうか。

理学療法士 丸山 綾那

## Column

### ストレッチで健康づくり

空気の澄んだ、さわやかな季節になりました。秋は、物事を始めるのに良い季節といわれています。今年の秋はストレッチを始めてみませんか。ストレッチを継続して行うと、肥満や高血圧、糖尿病などの生活習慣病やメタボリックシンドロームの予防につながります。また、体の柔軟性が高まることで、けがの防止や血行促進などの効果も期待できます。ストレッチの効果を高めるには、お風呂上がりに行うことをおすすめします。筋肉が温まり、血行が良くなるため、体を無理なく伸ばしやすいです。



健診センター



## 編集委員からこんにちは

今年の夏は非常に暑い一方で、全国的に豪雨災害が多く報告されました。ニュースでは、線状降水帯という言葉が取り上げられ、社会に浸透したように思います。災害はいつ起こるかわかりません。いざという時に備えて、家族や同僚とハザードマップや避難する施設、緊急連絡先などを確認してみてもいいでしょうか。

広報委員 渡邊 大和

特集

# チーム医療

～チームの力を生かして～



## 主なチーム

- ・栄養サポートチーム
- ・褥瘡対策チーム
- ・認知症サポートチーム
- ・透析予防診療チーム
- ・摂食嚥下支援チーム
- ・呼吸ケアチーム
- ・緩和ケアチーム
- ・精神科リエゾンチーム
- ・排尿ケアチーム
- ・骨粗しょう症リエゾンチーム
- ・脳卒中チーム
- ・臨床倫理コンサルテーションチーム
- ・医療安全対策委員会(SMT) / SMTワーキンググループ
- ・感染管理委員会(ICT) / ICTワーキンググループ
- ・抗菌薬適正使用支援チーム
- ・抗がん剤治療チーム
- ・ICLS(2次救命処置)ワーキンググループ
- ・防災ワーキンググループ
- ・DMAT(災害派遣医療)チーム

■チームのご紹介  
 当院にはあらゆる職種で構成されたさまざまなチームがあり、患者さんに最適な治療ができるよう、活動しています。  
 今回は、その中から3つのチームをご紹介します。

医療技術の進歩や症例の複雑化に対応し、質の高い医療を提供するためには、さまざまな医療スタッフが、専門性と得意分野を發揮しながら、連携して治療にあたる「チーム医療」が欠かせません。チーム医療は、病気の早期発見や回復促進、重症化予防など医療・生活の質の向上に効果的だといわれています。  
 以前の医療現場の中心は医師でしたが、チーム医療の中心は患者・家族の皆さまです。ご自身の症状の変化などを職員に伝え、治療についての説明を受け、納得された上で治療にご協力ください。

### 臨床検査技師

血液検査や心電図測定などを行います。



### 診療放射線技師

レントゲン撮影やCT撮影などを行います。

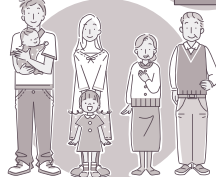


### 理学療法士

### 作業療法士

### 言語聴覚士

日常生活動作の維持や回復を目指し、リハビリテーションを行います。



患者・家族の皆さま

### 薬剤師

薬の専門家として、相談や説明を行います。



### 社会福祉士

病気やけがによる不安や経済的な心配などの相談に応じたり、入退院の調整を行ったりします。



### 管理栄養士

病状に合わせた栄養管理や栄養指導を行います。



### 臨床工学技士

人工呼吸器や透析装置など患者さんの命に関わる医療機器を操作・点検します。



### 医師

チーム医療のリーダーです。

### 看護師

患者さんの状態を確認し、安心して治療が受けられるよう支援します。



## 医療安全対策委員会(SMT)

医療安全管理者・薬剤師 亀島大輔



SMTとは、Safety Management Teamの略で、院内の医療安全に関する状況把握や医療安全対策の推進、医療事故の防止を目的に活動しています。

医療安全を推進する上で最も重要なことは報告です。1件の重大な事故の裏には、

29件の軽微な事故と300件のヒヤリ・ハット(事故には至らなかったが、ヒヤリとした・ハットとした事例)が隠れているといわれています。重大な医療事故を防止するためには、軽微な事故やヒヤリ・ハットの段階での報告を集め、再発防止策を講ずることが大切です。

SMTでは、職員に継続的な教育を行うことで、ヒヤリ・ハットも含め、起きた事例は報告するという意識付けをしています。

### ■チーム構成

脳神経内科医、麻酔科医、消化器内科医、産婦人科医、消化器外科医、呼吸器内科医、研修医、看護師、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、理学療法士、臨床工学技士、事務

セーフティマネージャー(各部署の責任者)や下部組織であるSMTワーキンググループ(各部署で安全管理に関する実務的活動を行う職員)とも連携して活動しています。

### ■活動内容

職員から報告された事例の原因分析や再発防止策を検討しています。問題点や対策の妥当性などを話し合い、対策が不十分な場合は追加で対策を講じたり、他の部署にも対策を展開したりしています。

また、全職員向けに、ウォークスルー方式や動画を用いて医療安全に関する教育をしたり、外部講師による講演会を主催したりしています。

SMTワーキンググループでは、多職種でチームを作り、医薬品の安全管理や転倒・転落の防止、心電図モニター適正使用の推進などに取り組んでいます。



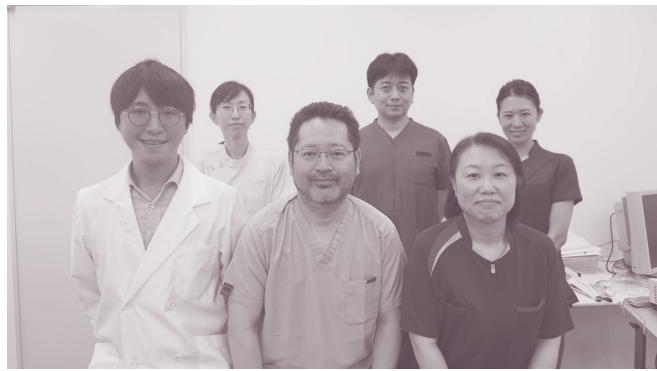
### ■チームの今後の目標

医療の安全・安心には患者さんのご協力が不可欠です。当院では、患者間違いを防ぐためにご自身でフルネームを名乗っていただくことや、薬の取り違いを防ぐために職員と一緒に薬を確認すること、アレルギー情報を職員に伝えることなどをお願いしています。

治療の中で疑問や不安に思っていることがあります。もしありましたら、職員にお伝えください。気軽に質問できる環境をつくるのが、さらなる安全につながると思っています。

## 認知症サポートチーム

認知症看護認定看護師 鈴木 名保美



高齢化社会が進み、認知症の方が他の病気の治療のために入院することが増えています。認知症サポートチームは、そのような認知症患者さんと、認知症患者さんに関わる病棟の職員のサポートをしています。

病棟の職員と共に、患者さんが抱える身体的・精神的な苦痛を理解し、身体や認知機能(記憶・判断などの脳の機能)の状態に合わせて療養環境を整え、最善の治療が受けられるようにすることを目的に活動しています。

### ■チーム構成

呼吸器内科医、看護師(認知症看護認定看護師を含む)、薬剤師、作業療法士、社会福祉士、事務

### ■活動内容

毎週水曜日の午前中に病室訪問とミーティングを行っています。病室訪問では、患者さ

んと会話をしながら身体や認知機能の状態を確認します。それを病棟の職員と共有し、患者さんとの関わり方などを工夫しています。

認知症患者さんは入院すると、環境の変化などから混乱してしまうことがあり、患者さんの安全のためにやむを得ず、ひもや帯で身体を拘束したり、薬を使って行動を落ち着かせたりする場面があります。そういった身体拘束の解除に向けた支援や薬の調整などの助言も行っています。



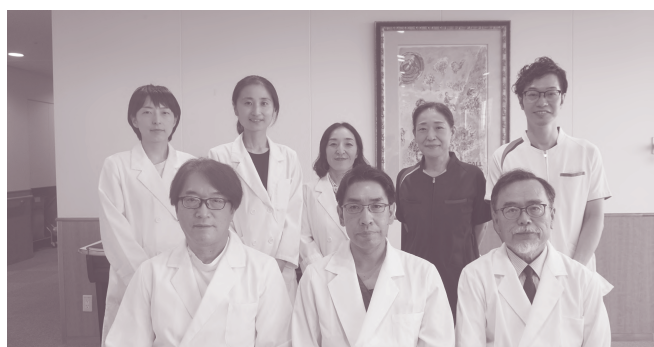
### ■チームの今後の目標

身体の不調に加え、知らない場所で慣れない生活を送る入院生活は、認知症患者さんにとって不安や恐怖の連続です。安心して治療を受け、快適な入院生活を送ることができるよう、引き続きサポートします。

また、病棟の職員から信頼され、気軽に声をかけてもらえるチームを目指しています。

## 緩和ケアチーム

薬剤師 菅原 さやか



緩和ケアチームは、がんなどの悪性腫瘍や末期心不全の患者さんの痛み・吐き気・息苦しさなどの身体的な苦痛はもちろん、不安・悲しみなどの精神的な苦痛も、薬や処置、カウンセリングなどで和らげ、患者・家族の皆さまの日々の生活が少しでも良くなるようサポートしています。

緩和ケアは、お困りの症状があれば、通院・入院問わず、抗がん剤治療中など早期のがん患者さんも受けていただけます。

### ■チーム構成

呼吸器内科医、消化器内科医、産婦人科医、疼痛緩和ケア科医、精神科医、看護師(がん看護専門看護師、がん化学療法看護認定看護師を含む)、薬剤師、言語聴覚士、管理栄養士、社会福祉士、事務

下部組織として、各病棟にリンクナース(病棟スタッフと密接な連携をとる担当看護師)を配置しています。

## 健診センター

年に1回、人間ドックや健康診断を受けてみませんか？

完全予約制



女性専用  
エリアを設置

TEL 0566-25-8182

受付時間 月～金曜日  
8時～16時

<https://www.toyota-kai.or.jp/facility/center/>



### 胃がんの検査

胃がんは、かつて日本人のがんによる死亡数第1位でした。最近では診断方法と治療方法が向上し、その順位は下がったものの、毎年多くの方が亡くなっています。初期には自覚症状がほとんどないため、定期的に検診を受け、早期に発見・治療することが大切です。検診で異常を認められた場合は、胃力メラを行い、胃がんかどうか疑わしい部位の組織を少量採取し、顕微鏡で調べます。

## 相談窓口

心配なこと、お困りのことなどが  
ありましたら以下の窓口まで！

治療や療養上の総合的な相談  
医療安全・医療事故に関すること ➡ **患者相談窓口**

療養中の不安や  
医療・福祉・介護の制度について ➡ **総合相談室(医療福祉)**

がんに関する相談  
(お電話でも相談可) ➡ **がん相談支援センター**  
(がん相談窓口:0566-25-8110)

受付時間 月～金曜日  
8時30分～16時45分

場所 正面玄関入って右

## イベント・教室

当院ホームページ  
「広報・イベント情報」をご覧ください！



水曜会(乳がんと診断を受けた方の会) ※予約不要			
開催日	11月15日(水)	1月17日(水)	3月13日(水)
時間	14時～15時30分		
場所	診療棟5階 第4会議室		

がんに関する相談会	
がんサロン(がん患者さんとご家族の集い)	
ピアサポーター(がん治療体験者)による相談会	
社会保険労務士による就労支援のための相談会	

医療の知恵袋(目で見る市民公開講座)ホームページ上での情報公開	
10月20日(金)公開予定	婦人科の傷の小さな手術について
12月20日(水)公開予定	腰椎椎間板ヘルニア～新しい治療～
1月19日(金)公開予定	「飲み込み」について

<https://www.toyota-kai.or.jp/hospital/public/>

### ■活動内容

緩和ケア外来

対象 通院患者さん

活動日 毎週火曜日 午前

医師、看護師、薬剤師を中心に、患者さんのお話を伺い、お困りの症状を改善するために薬の処方などを行います。  
緩和ケア外来の受診を希望される方は、主治医にその旨をお伝えください。

緩和ケアチーム回診

対象 入院患者さん

活動日 毎週水曜日 午後  
毎週金曜日 午前

精神科医や管理栄養士を含めたチームで患者さんの病室を訪問し、ゆっくりとお話を伺いながら、きめ細やかなサポートを行います。



### ■チームの今後の目標

悪性腫瘍や末期心不全と診断されてからいずれの期間も、どこで治療を受けていても、患者さんの苦痛や不安に寄り添い、患者さんが笑顔で過ごすためのお手伝いができる、頼れるチームを目指しています。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための面会制限により、自宅でも迎えたいと希望される患者さんも増えました。緩和ケア病棟や地域の在宅訪問診療にあたって医療スタッフとも連携し、患者さんの希望される治療をスムーズに提供できるように努めていきます。

# ご意見箱



**ご意見** 入院患者の面会時間をもう少し長くしてほしい。

**回答**

新型コロナウイルス感染症は、感染症法上の位置づけが5類感染症となりましたが、入院患者さんは免疫力が低下している方が多くおり、感染すると重症化する恐れがあります。

そのため、1回の面会で面会者3名まで、15分以内としています。短時間の面会は、多くの方が同じ空間で滞在することによる感染の広がりを防ぐことができますので、ご理解・ご協力いただきますようお願いいたします。

※今後の感染状況によって、面会条件を変更する場合がございます。

面会をご希望の方は当院ホームページ「ご利用案内・お見舞い」をご覧ください。

貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。

今後も皆さまにご満足いただけるよう、職員一同努力してまいります。(文責：総務室長)

[豊田会理念] 保健・医療・福祉分野で社会に貢献します

[豊田会方針] 温かい思いをこめた、質の高い保健・医療・福祉サービスを提供します

[病院方針]

1. <患者権利の尊重・患者第一主義>

患者権利を尊重し、当院が定める倫理方針に基づき、常に患者・家族の立場に立ち、やさしさと思いやりと笑顔で、患者によりそう医療を提供します。

2. <地域中核病院としての機能充実>

地域中核病院として、機能充実のため医療体制の確保と高度医療機器を整備し、職員は医療人として高度急性期医療、救命救急医療、地域との連携に使命感をもって取り組みさらなる充実に努めます。

3. <ICT技術の活用>

積極的にICT技術を活用し、効率的かつ安心・安全で質の高い医療の提供に努めます。

4. <働きがいのある職場づくり・人材育成>

地域の医療を支える人材の確保と、職員の主体性とチャレンジ精神を尊重した働きがいのある職場づくりと人材育成に努めます。

5. <研修医・専攻医の育成>

臨床研修病院として、基本的な診療能力および高度な専門能力を有し、チーム医療の一員として安全・安心・満足の得られる患者中心の良質な全人的医療を実践できる医師の育成に努めます。

6. <持続可能な医療提供>

病院経営の健全化、戦略的病院経営により、持続可能な医療を提供します。

7. <コンプライアンス(社会的責任を果たす)>

職員一人一人が、法令や社会的規範を遵守して事業活動を実践し、医療の提供を通じて社会の発展に貢献します。

[患者の権利と責務] 私たちは患者の皆さまの権利を尊重し、安全で質の高い医療の提供に努めます。

そのためには、患者の皆さまの主体的な参加が不可欠です。

以下に掲げる事項は、患者さんと医療従事者が守るべき事項です。

- 【患者の権利】
1. 安心して最善の医療を公平に受ける権利を尊重します。
  2. 医療機関を自由に選択し、他の医師の意見を求める権利を尊重します。
  3. 治療に関する情報を知り、説明を受ける権利を尊重します。
  4. 治療に関する方法を自己の意思で決定する権利を尊重します。
  5. 個人の情報が保護される権利を尊重します。

- 【患者の責務】
1. 自ら選んだ治療方針に沿って医療に参加する責任があります。ご自身の健康に関する情報を医療者にできるだけ正確に伝え、また、同意された医療上の指示に従ってください。
  2. 病院の規則を守り、犯罪行為、迷惑行為を行わないなどの社会的ルールを守る責任があります。
  3. 検査や治療のために、必要な医療費を負担する責任があります。

病院長み〜つけた! 回答

①3ページ 健診センター コラム ②4ページ 特集内 チーム医療の医師 ③7ページ イベント案内(健診欄)



日本医療機能評価機構の  
認定を受けています



卒後臨床研修評価機構の  
認定を受けています

ISO 9001 : 2006年2月に認証取得  
2020年11月に認証返上  
品質管理の取り組みは継続  
ISO14001 : 2000年2月に認証取得  
2007年12月に自己宣言に移行  
ISO15189 : 2010年11月に認定取得

刈谷豊田総合病院

検索

<https://www.toyota-kai.or.jp/>  
バックナンバーは当院ホームページにてご覧いただけます

